

令和元年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立吾嬭立花中学校
校長名	池田 伸彦

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から（平均正答率は、別表参照）

成 果	課 題
<p>【単年度考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年2年3年の国語において、15観点中13観 点で目標値に到達した。 <p>【経年考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年の社会と3年の国社数理で、A層の生徒数 が増加した。 ・3年の英語で、DE層の生徒が大きく減少し た。 	<p>【単年度考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年の数理と3年の社数理で、全観点で目標値 から5ポイント以上引き離れている。 <p>【経年考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年の数理でAB層の生徒が10名以上減少す るとともに、DE層の生徒が20名以上増加し た。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<p>【単年度考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学級の規範意識」と「いじめのサイン」に ついて、全学年で全国標準スコアを上回っ ている。 <p>【経年考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年では「学級の規範意識」、3年では「感動 体験」が全国標準スコアを上回った。 	<p>【単年度考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習習慣」について、全学年で全国標準ス コアを大きく下回っており、特に2年はそ の傾向が顕著である。 <p>【経年考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土日や祝日の学習時間」において、2年3 年ともに1日30分以下の生徒が大きく増加 した。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年全学級でチャイム前着席の励行が定着 しており、どの学級においても適正な授業規 律が確立し維持されている。授業妨害や立ち 歩きは勿論のこと、私語もほとんど認められ ない。 ・生徒による授業アンケートの集計結果を見る と、「授業は分かりやすい」と回答する生徒が 例年9割を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の提出が滞る生徒が、DE層の生徒の中 に見られる。また、各学級の一部の生徒は、授 業中は板書の書き写しとワークシートへの回 答記入に終始し、自分で考える主体的活動に 至っていない。 ・生徒による授業アンケートの結果から、生徒 は「授業は分かりやすい」と感じているが、各 学習状況調査や校内の考査等では得点に結び 付いていない。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 既習内容の定着を基本としながら発展的学習を組み入れた授業を展開する。

- ・単元の目標を踏まえた本時の「めあて」を明確に示す。
- ・振り返りシート等のアウトプット教材を計画的かつ継続的に活用し、本時の「まとめ」を確実に実施する。
- ・生徒の主体的な学習活動を適正に組み入れ、思考力を深めさせる授業を展開する。
- ・各教科において単元テストや小テストをショートサイクルで計画的に実施し、既習内容の定着度合いをこまめに確認する。
- ・「吾孺立花中学校生の授業の受け方」を全教科で徹底し、授業規律を高いレベルで維持または向上させる。

(2) 放課後や定期考査前の補習を充実させ、授業以外の学習時間を確保する。

- ・図書館の一角に「復習問題コーナー」を設置し、放課後学習の会場として活用する。
- ・全学年一教室を放課後自習教室として開放し、生徒同士が教え合いながら学習を進める場として提供する。
- ・各定期考査の1週間前から、全学年で考査対策放課後教室を開き既習内容の定着度合いを高める。
- ・各学期に2回の学年別基礎学力コンテストを実施し、優秀生徒を各回表彰する。さらに、年度末に年間総合優秀生徒を表彰する。
- ・外部検定協会主催の各種検定試験を校内で実施し、優秀生徒を表彰する。

(3) 近隣小学校との教科連携と保護者への情報提供を進める。

- ・国社数理英で小学校と中学校の間で教科連携を図り、児童と生徒の実態を相互把握しそれぞれの授業改善に役立てる。
- ・各学期に1回の小学6年生児童とその保護者を対象にした公開授業日を設けることにより、中学校の授業内容や授業進行を体感できる機会を作る。
- ・本校および近隣小学校の保護者を対象として、学力向上の重要性を主題にした講演会や高等学校進学に関する情報提供会等を実施する。

3 「令和2年度 墨田区学習状況調査」における目標

- ・墨田区学習状況調査の各教科観点別平均正答率について、目標値に達している観点は全国平均へ、目標値から-5ポイント差以内の観点は目標値へ、-10ポイント差以内の観点は-5ポイント差以内へ、目標値から-10ポイント差以上の観点は-10ポイント差以内を目標とする。
- ・全教科において、D・E層の割合50%以内を目標とする。